

児童の栽培体験学習

周南市立夜市小学校

1 概要

こめこめクラブを母体とする、学校支援ボランティアの支援を受けながら、年間を通して児童が校地内の畑等で栽培体験学習を行う。

2 所属・人数

夜市小学校児童 99名

こめこめクラブ会員 7名

学校支援ボランティア

3 活動の状況

サツマイモ、タマネギの苗植え、そばの種まき及び収穫、各種花の栽培の時期に児童が栽培体験学習を行うとともに、11月の日曜参観日に、収穫した物や花苗、種子の販売活動（マルシェ）を行う。

(1) 4月 タマネギの収穫

4月28日（木）、地域の方に教わりながら、1、2年生が玉ねぎを収穫した。収穫した玉ねぎは、2つを紐でくくり、渡り廊下に干した。



(2) 5月 1・2年生：サツマイモの苗植え体験

5月16日（月）、1、2年生が地域の方に分かりやすく教えていただきながら、苗を植え付けた。大きくて甘いサツマイモになるよう期待しながら、楽しく植え付けができた。



(3) 6月 ジャガイモ、ニンジンの収穫

6月16日（木）に5、6年生がジャガイモ、3、4年生がニンジン収穫した。

(4) 6月 感謝の気持ちを伝えようの会

野菜作りでお世話になっている、こめこめクラブの皆さんに感謝の気持ちを伝える集会を行った。まず、ゲームやクイズで交流を深めた。収穫した野菜（玉ねぎ、人参、ジャガイモ）は、カレー集会のときに調理する予定であったが、今年度はコロナウィルス感染症対策のため、実施できなかった。そのため、収穫した野菜をこめこめクラブの方から一人ひとりいただいた。いただいた野菜は各家庭で調理して食すことができた。

(5) 9月 4年生 ソバの種まき

9月1日（木）、始業式の日4年生がソバの種まきをした。収穫、ソバ打ち体験まで、今後計画している。

(6) 10月 1年生 サツマイモの蔓でリースづくり

きれいに丸くするのはなかなか難しいようだったが、地域の方に手伝ってもらいながら、たくさんのリースができた。

(7) 10月 1・2年生：芋掘り体験

1、2年生が、地域の方に教わりながら、サツマイモ掘りをした。6月に植えたサツマイモは、大きく育っていた。

(8) 11月 タマネギ苗植え

1、2年生が、地域の方に教わりながら、タマネギの苗を植え付けた。サツマイモ同様、地域の方に土作りやマルチの施工等、丁寧に準備をしていただいた。植え方についても当日指導していただき、一人が5本程度植えることができた。



(9) 11月 日曜参観日 (マルシェ)



1年生はあきいっぱいランド、2年生はおもちゃランド、3年生は種、苗店、4年生はカボチャ、サツマイモ店、5年生はリユース店、6年生はエコバック、レシピ本店を開いた。学校で収穫した物や花苗、種子の販売活動(マルシェ)を行うことができた。企画、準備、当日の運営まで子どもたちが行い、保護者の方、地域の方とふれあ

ながらの販売活動、とても有意義な時間を過ごすことができた。

(10) その他の活動

イモパーティー(1、2年) ソバの収穫、ソバ打ち体験(4年生)

花苗栽培活動(3~6年)

4 活動の成果と課題

子どもにとって貴重な体験学習となるとともに、地域の大人とのふれあいを通して、地域の人々の思いに触れ郷土に親しみを感じることができた。ボランティアの方々からは、地域の子どもたちがよりよく成長してほしいという思いを直接届けることができ、それによって生きがいを感じているとの感想をいただいている。

学校としては、コミュニティ・スクールで大切にしている地域の「学校教育への参画意識」の高揚に大きく寄与していると考えており、一層活性化を図りたいと考えている。

課題としては、事業の継続に係る資材等の費用についての負担があげられる。学校としては、今後も継続できるよう負担していきたい。